

神話スライド s e t シリーズ

# おおぐま座こぐま座

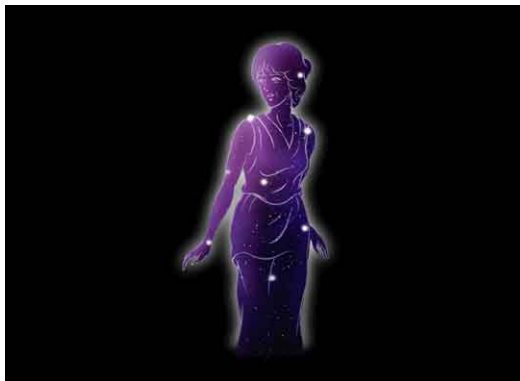
スライド枚数	: 14 枚
時間	: およそ3分から5分
イラスト	: 高部 哲也
語り	: 山本百合子

※ 音響テープあり

**LIBRA** CORPORATION



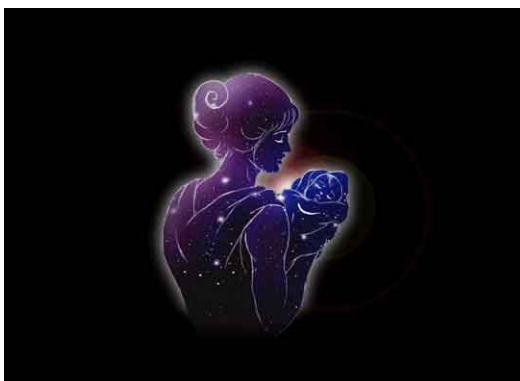
+音始まり



1. むかしむかし、神と人間がまだ一緒に暮らしていたころのこと。  
月と狩りの女神アルテミスに仕える妖精の中に、カリストという若くて魅力的な女性がいました。神々の王ゼウスは一目見て彼女をととても気に入りました。



2. カリストは、ゼウスの不思議な力によって、いつしかひとつの命を宿したのです。

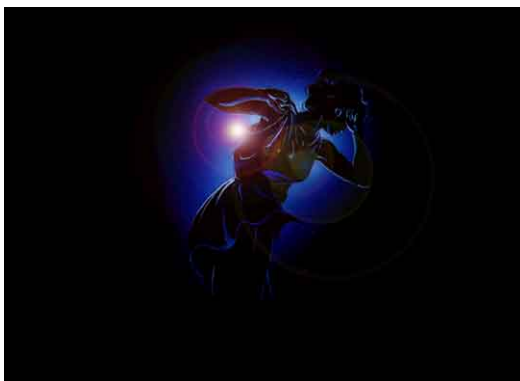


3. やがて、森の奥の洞穴で男の子が生まれ、アルカスと名付けられました。  
カリストは、森の奥で密かに育てました。それは嫉妬深いゼウスの妻ヘーラに、アルカスの存在が知られることを恐れたからでした。

+音変わり



4. しかし、幾ばくも立たないうちに、  
恐れたことが現実。  
カリストは、必死で許しを請いましたが、  
ヘーラの怒りは解けません。



5. 「おまえなど、熊にでもなっておしまい！」

SE シャキーン（衝撃音）



6. SE がおー！



7. 熊に変えられてしまったカリストは、  
悲しいうなり声を残して森の奥に消えていきました。

+音変わり



8. それから十数年。  
森の猟師に育てられ、立派な狩人に成長した  
アルカス。



9. ある日、森で出会った大きなくま。  
このくまこそ母カリストの変わり果てた姿だった  
のです。



10. くまの姿となっても、心はアルカスの身を案じ  
る妖精カリストのまま。  
ひとめで、アルカスだとわかったカリストは、  
くまの姿であることも忘れ、アルカスに抱きつこ  
うとしました。



11. 何も知らないアルカスは、襲いかかってきた  
大熊に、自慢の槍を振り上げます。



## 12. SE 稲妻

次の瞬間、稲妻が空を引き裂きました。



## 13. あまりにもかわいそうな光景をみかねた ゼウスが彼らを天にあげ星座にしたのでした。

もう、二度と離ればなれにならないように。  
それが、おおぐま座とこぐま座です。  
不幸な過去を忘れ、今では、いつも親子仲良く  
北の空を守っているというわけです。

